

アジア学院の学生 / 研究科生

2014年度

The Class of ARI 2014

Rural Leaders Training Program

農村指導者研修プログラム

キューバ CUBA



ホセ・アントニオ・サンチェス

Mr. Jose Antonio Sanchez

内省と対話のためのキリスト教センター
The Christian Center for Reflection and Dialogue (CCRD)

農業指導員
Farm Coordinator

- ① ホセ Jose
- ② わたしは失業者が多いカルデナス地域の男性と女性を農場で訓練することによって、彼らの能力を向上させるために働いています。わたしは彼ら自身が生活を持続できるようになるために、より効果的に教えられるよう、自分の技術的、実践的なスキルを高めたいと願っています。キューバに戻ったら、所属団体に有機農業の実践と理論のコースを始めるつもりです。

- ① ニックネーム ARI Nickname
- ② 活動内容 Activities

マラウイ MALAWI



ブレンダ・ゼンベニ・マガンガ

Ms. Brenda Zembeni Maganga

聖公会シレ高地教区
Anglican Diocese of Upper Shire

農業指導員
Field Worker

- ① ブレンダ Brenda
- ② わたしの地域では人々はお互いに支えあって生きています。そこには学びと発展の可能性があります。わたしはアジア学院の共同体の多様性を高く評価しています。アジア学院では、わたしは持続可能な農業の経験を深め、人間開発への包括的な取り組みを学び、指導者意識と技術を向上をさせたいと願っています。



アーネスト・ゴールデン・マガンガ

Mr. Ernest Golden Maganga

カチェレ進歩的的女性グループ
Kachere Progressive Women's Group (KPWG)

農業コーディネーター
Field Coordinator

- ① アーネスト Ernest
- ② わたしはマラウイのブランティレ地域で、カチェレ進歩的的女性グループとともに、農業指導員として働いています。わたしたちは女性たちの能力向上と利益の出る農業のためにたゆまず努力しています。わたしはマラウイの草の根のリーダーを目標として、家庭で食糧自給できる共同体を作り出し、それを広げていきたいと思っています。

バングラデシュ BANGLADESH



レハナ・イエスミン

Ms. Rehana Yesmin

サタタ開発協会
Satata Development Society

事務局長
Executive Director

- ① レハナ Rehana
- ② わたしたちは地域の女性のグループに、貧困を緩和し、貧しい子供たちの教育を助け、収入を得るための技術として、養鶏、育牛、園芸、工芸、養魚などの訓練をしています。わたしは農業の知識をさらに拡張し、彼らとともにそれを分かち合いたいと願っています。農村の貧困社会の経済状況が改善されない限り、バングラデシュでは誰も発展することはできません。

学校法人 **アジア学院** は、1973年の創立以来アジア、アフリカ、太平洋諸国等の農村地域から、その土地に根を張り、その土地の人々と共に働く「草の根」の農村指導者(Rural Leader)を学生として招き、栃木県那須塩原のキャンパスで、国籍、宗教、民族、習慣、価値観等の違いを認めつつ、公正で平和な社会実現のために、実践的な学びを行っている学校です。

9ヶ月間の農村指導者養成の研修は、いのちを支える「たべもの」作りにこだわり、有機農業による自給自足を基本としています。学生たちは座学、ディスカッション、見学研修、グループ単位での農場運営を通して、自国のコミュニティの自立を導くリーダーシップを養います。

アジア学院では、研修を受ける金銭的な余裕のない草の根で働く人々に研修の機会を与えるため、海外からの学生渡航費、研修費をほぼ全額負担しています。

そしてこのアジア学院の活動は、皆様のご厚意と寄付によって支えられています。



Asian Rural Institute

韓国 SOUTH KOREA



崔 元棋
Mr. Motoki Che

- ① モトキ Motoki
- ② わたしの母は熱心な信徒であり、わたしの父は映画を見るのが好きです。わたしの母を通して、わたしは折々に生と死を考えるように影響を受けました。また父とともに映画を見ることで、驚くような考えに触発され、人々が互いに違う考えを持っていることを教えられました。今は、アジア学院でわたしは農業につながっています。

ラオス LAOS



カムレッ・センスウーリチャン
Ms. Khamlet Sengsoulichanh

ARMI - 地域、動員と発展のための連合体
The Association for Rural Mobilisation and Improvement (ARMI)

企画調整員
Project Coordinator

- ① カムレッ Khamlet
- ② 多くの農村共同体が自然資源を持っていますが、海外企業が入ってきているので、わたしたちは地域共同体の未来について不安を抱えています。わたしは自然農法の技術を用いて農家の能力を高めるために働いています。アジア学院で「体験実践学習」を経験したのち、わたしは農家の人たちが有機農業を実践できるように自分の訓練技術を高めたいと願っています。

ウガンダ UGANDA



ジョン・ワルカノ
Pr. John Walukano

ウガンダ ウェスレー教会
Wesleyan Church of Uganda

牧師
Pastor

- ① ジョン John
- ② わたしが暮らす地方の農村では、人々は保健サービスを受けられず様々な訓練の機会も不足しています。農村に牧師として仕えるなかで、わたしは農業技術の訓練、種苗の向上を行い、太陽熱オーブン、家庭向けの泥土かまどなどを作っています。アジア学院では、若者へカウンセリングを行うための知識や農家の生計を立てるための新しい農業を教える技術を習得したいと願っています。

インドネシア INDONESIA



エウニケ・ウィディ・ワルダニー
Ms. Eunike Widhi Wardhani

トルカジャヤ基金
Trukajaya Foundation

教会有機農業チームメンバー
Church Organic Farming Team Member

- ① ニケ Nike
- ② 農民は食べ物に精通した人であるにも関わらず、しばしば軽んじられます。これはとくに女性に対して顕著です。わたしはこのような女性たちの能力を高め、彼女たちの大きな夢をわかちあうために働きます。そして農村における女性たちが、自分らの活動をもっとうまく計画し、実行することができるよう、アジア学院で食の安全について学んだことを用いるつもりです。



ランピタ・シラバン
Ms. Lampita Silaban

フンバン独立協力農業協会
KSU POM HUMBANG

マーケティング&農業オーガナイザー
Marketing and Farm Organizer

- ① ランピタ Lampita
- ② 「農夫なきところに生活は成り立たない。」この信念をもって、わたしは若者と農家の人々の農業への関心が行動につながるよう働きつづけています。わたしは彼らとともに働き、彼らを支えることで、彼らの能力を高め、より良い生活に向かって彼らが進めるように、アジア学院の理念を持ち帰りたいと思っています。



ルディ・チャスルディ・ジャヒディン
Mr. Rudi Casrudi Jahidin

ルクン タニインドネシア
Rukun Tani Indonesia

議長・地域開発指導員
Chairman, Community Mobilizer

- ① ルディ Rudi
- ② インドネシアでの農業改革の必要性を強く感じながら、わたしは自分の信念に従い、広大なプランテーションに対抗して土地の所有権をかけて戦う農家を擁護するため、彼らとともに働いています。アジア学院で協同組合や有機農業についてさらに学んだのち、わたしは派遣団体や地域の人々とともに、男女を問わず農民を支援し力づけるトレーニングセンターを発展させるために働きたいと思います。

ミャンマー MYANMAR



ノー・エー・エー・シュイ
Ms. Naw Aye Aye Shwe

ミャンマーバプテスト同盟
Myanmar Baptist Convention

ミャンマーバプテスト教会連合主事
Secretary at Myanmar Baptist Churches Union

- ① エーエー Aye Aye
- ② わたしは農業を営む家庭で育ち、現在はミャンマー・バプテスト教会連合の主事として働いています。わたしは農業、畜産、森林経営に焦点をおきながら、デーマウソー郡のカインの人々を、伝統的な農業から有機農業へ促していきたいと願っています。わたしはアジア学院から持続可能な地域発展を導き教える新しい技術を取得し、地域に返ることを願っています。



クン・ミャツ
Mr. Khun Myat

カチン神学大学
Kachin Theological College

指導員・農業マネージャー
Teaching Staff & Farming Manager

- ① クンミャツ Khun Myat
- ② わたしは農村の仕事に関わりながら育ちました。わたしはミャンマーの北シャン州にあるカチン神学大学の卒業生であり、同校の教員です。同校の農場では、わたしは農業研修生に実践的な有機農業と持続可能な農業を教育しています。わたしはアジア学院での経験を用いて、研修生や地域の農業従事者への指導要領を改善することを計画しています。



K・T・ニ・サン
Ms. K.T. Ni San

フアルンゴランド開発機構
The Hualung Land Development Organization

主事・農業者
Secretary, Farmer

- ① ニサン Ni San
- ② わたしはミャンマー、チン州の派遣団体フアルンゴ土地開発機構の主事を務め、同時に農業者でもあります。これまで派遣団体の多様な地域プロジェクトにかかわってきました。ミャンマーに戻ったのち輸送の問題と新しい農業形態の実験に取り組むことなどを計画しています。アジア学院では、持続可能な畜産と稲作、特に機械を用いる方法を学んでいきたいと望んでいます。

ミャンマー MYANMAR



ソー・エー・ソー
Mr. Saw Eh Thaw

パンセイン ミャウミャー バプテスト連盟
Patheingyi Myaung Mya Association (PMA)

センターマネージャー
Center Manager

- ① エーソー Eh Thaw
- ② わたしは農村地域に生まれたので、農村の仕事に深く関わっています。わたしの地域には不足しているものがありますが、わたしたちにはお互いが助けあう社会的特徴があります。アジア学院から地元に戻ったら、草の根の人々の生活向上の支援をする有機複合農業の知識を広めたいと思っています。



ティ・ティ・ウィン
Ms. Thi Thi Win

カルヤナ ミッタ基金
Kalyana Mitta Foundation (KMF)

後方業務ボランティア
Logistic Volunteer

- ① ティティ Thi Thi
- ② 私はハーバルのゴム農園で育ちました。私は地域の学校の農園プロジェクトを担当しています。生徒たちが農業を学び、生徒自身が食べるものを自分たちの手で育てている姿を見るのが、私の最大の喜びです。有機農業の実践によって人々の暮らしが改善されると信じています。



フランシス・ンガオベラ
Mr. Francis Ngaovera

ドンボスコ農村トレーニングセンター
Don Bosco Rural Training Center

農業指導員
Agriculture Teacher

- ① フランシス Francis
- ② わたしはテレのドンボスコ農村トレーニングセンターにある寄宿学校で農業指導員として働いています。ここでは正規の教育を受ける機会がない若者のために、それに代わる学習環境を提供しています。わたしはより良い指導者となるために、アジア学院でわたしの知識をさらに広げたいと願っています。

スリランカ SRI LANKA



アヨマ・テンナコーン
Ms. Ayoma Thennakoon

HELP-O 人と環境をつなぐ発展機構
Human and Environment Links
Progressive Organization (HELP-O)

農業指導員
Field Manager

- ① アヨマ Ayoma
- ② わたしは津波で被害を受けた地域の農家の生活を発展させるために働いてきました。わたしの派遣団体である HELP-O は開発と環境の均衡のとれた発展をすすめる NGO です。わたしは指導力の向上、農村地域の人々の能力強化、そして農業を学びたいと思っています。そのことによってわたしの農業指導員としての働きを改善することができます。



チャトゥーリカ・セウワンディ・ナーナヤッカラ
Ms. Chathurika Sewwandi
Nanayakkara

セワランカ基金
Sewalanka Foundation

青年指導員
Youth Coordinator & Social Mobilizer

- ① ティリニ Thilini
- ② わたしは派遣団体において、農村の人々が自分たちの発展の必要性を民主的に見極め主張できるよう、農村の指導者を志す若者を訓練しています。また、わたしは民主的で非暴力な社会の変革に献身する諸宗教間聖職者ネットワークを設立するために仲間と働いています。アジア学院でわたしは指導力、共同体を発展させる方法、有機農業の精神を学ぶことを希望しています。



E・G・スネス・ラクマル
Mr. E. G. Suneth Lakmal

人間開発基金
Human Development Foundation

企画調整員
Project Officer

- ① スネス Suneth
- ② 人間開発基金のガレウェラ・プロジェクトの責任者として、わたしは地域を改善するために様々なレベルで働いています。ガレウェラ・プロジェクトは特に貧しい農家の収入レベルを具体的に向上させる働きをしています。わたしはアジア学院で農業の技術、指導力を発展させることと、化学肥料に代わる肥料について学ぶことを望んでいます。

ネパール NEPAL



デバキ・クッカ
Ms. Debaki Khadka

タイタン
TITAN

農業調整員
Farmer Facilitator

- ① デバキ Debaki
- ② 健康的な野菜を生産するための訓練を施すことによって農民の能力向上を目指す非営利団体タイタンで、わたしは地域に住む農民と移住してきた農民の双方に訓練を行っています。アジア学院での研修を修了した後、わたしはタイタンでの働きを再開し、アジア学院での有機農業の経験を活かしたいと思っています。



アントニオ・ペドロ・デ・ファティマ・カバリョ
Mr. Antonio Pedro de Fatima Cavalho

PAC- 聖クラレチアン宣教会農業プログラム
PAC - Claretian Agriculture Program

農業指導員
Teacher & Farm Worker

- ① アントニオ Antonio
- ② わたしはインドネシアとの国境近くに暮らす三つの部族の農業グループと共に、種と苗木を準備し、彼らが生産したものを販売することを支援しながら働いています。わたしは自分の有機農業と家畜飼育の知識を深めたいと願っています。そのことによって、新しい有機農業技術やその成果を他の農家にむけて示すことができるからです。



カルメルinda・ドス・サントス・アルメイダ
Sr. Carmelinda Dos Santos Almeida

聖母訪問会
Sisters of the Visitation of Japan

修道女・地域共同体スタッフ
Nun, Rural Community Worker

- ① カルメン Carmen
- ② わたしは神が自然を通して良いものを与えてくださることを信じています。わたしは東ティモールの学生だった頃、父と一緒に農場で野菜を育て働きながら作物栽培を学びました。今カトリックの修道女として、修道院の労働者に実演することができるような新しい技術を学びたいと願っています。そのことによって、彼らは野菜農園で従来とは異なった技術を用いることができるようになると思っています。

リベリア LIBERIA



マイケル・タンバ
Mr. Michael Tamba

LICPMAP - リベリア総合的穀物病害虫管理農業プログラム
Liberia Integrated Crop and Pest Management Agricultural Program (LICPMAP)

議長・地域指導員
Chairman, Community Mobilizer

- ① マイク Mike
- ② リベリアでは多くの農民が基本的な訓練すら不足している状況です。わたしの仕事は彼らが新しい技術を習得することで生活を改善する機会を与えることです。アジア学院では自分自身の知識をさらに向上させ、いつの日か農業協同組合を設立することを目標としながら、さらに実質をともなった訓練を実施できるようになりたいと思っています。



アリス・ハワード
Ms. Alice Howard

ルーテル開発サービス
Lutheran Development Service

研修助手
Training Assistant

- ① アリス Alice
- ② 私は農民たちに代替医療や栄養に関する研修を行なっています。「食べものと健康は切り離すことができない。」これこそ私がコミュニティの人々に伝えていきたいメッセージです。私は有機農業と畜産について特に学びたいと思っています。



ロメオ・デニス
Pr. Romeo Dennis

チャーチエイド
Church Aid Incorporated

牧師・農業従事者
Pastor/Farmer

- ① ロメオ Romeo
- ② 内戦の中人々は農地を失い飢餓に直面しながらチャーチエイドを通して互いを助け合っていました。わたしは地方の人々、とくにテルボマイの女性を動員し、彼女らが必要を満たすことができるように彼女らの現実的な帰還を助けたいと思っています。アジア学院での研修ののち、わたしは新しい技術で人々をさらによりうまく動員し、平和の構築と有機農業の訓練を続けていくつもりです。

カメルーン CAMEROON



コリンズ・イエニカ・リティカ
Mr. Collins Yenika Litika

農村地域改革センター
Rural Transformation Centre

農業指導員
Field Worker, Trainer

- ① コリンズ Collins
- ② わたしの農業指導員としての目標は、若い人や女性が自分たちの村々に留まって生活できるように、持続可能な生活手段として、養蜂、環境保全、穀物、家畜の生産の訓練をすることです。アジア学院は、そのために私が必要とする技術を発展させてくれると思っています。



タイトゥス・テグイ・アトンバ
Mr. Titus Tegwi Atomba

北西地区養豚業者組合(NOWEPIFAC)
The North West Pig Farmers' Cooperative Society (NOWEPIFAC)

組合長
President of Pig Farming Cooperative

- ① タイトゥス Titus
- ② わたしは養豚に関する専門家をわたしの地域に招へいしたり地域の養豚業者とともに働くことで、農家の生産を増やし、家畜の病気と闘うこと、販売戦略を強化することを支えてきました。アジア学院では、持続可能な農業、養豚、地域経済の発展、そしてカメルーンの農村の人々にこのノウハウを伝える効果的な方法を学びたいと思っています。



マリオ・リーベロ
Fr. Mario Rebello

聖フランシスコ・ザビエル宣教師協会
Society of the Missionaries of St. Francis Xavier

神父・農場マネージャー
Priest, Farm Manager

- ① マリオ Mario
- ② わたしはインド北部ゴアの内地の若い人たちが、生計手段としての農業への関心を刷新するよう推し進めたいと思っています。アジア学院において、わたしは指導者としての技術を向上させ、同時に養豚、育牛、農業を学びたいと思っています。インドに戻ったのち、わたしの農場に有機農業の技術を導入し、他者とともにその技術を分かち合うことを計画しています。

日本 ("")"



はま なか ようへい
濱中 陽平
Mr. Yohei Hamanaka

① ヨウヘイ Yohei

② 去年はアジア学院の本科生として有機農業を通じた食の自給自足について学びました。今年は研究科生としてエネルギーの自給自足に焦点を置き、有機農業と再生可能エネルギーがうまく調和したシステム作りに挑戦します。そしてこのシステムを学生と共有し、より柔軟で具体的な物事のとらえ方を身につけることを目標としています。

(2013 年度卒業生)



あら い みつまさ
荒井 光政
Mr. Mitsumasa Arai

① ミツ Mitsu

② 私は大学時代部活動で訪れた開発途上国と日本との大きな違いを体験しました。そして貧困問題、食糧問題に大きな興味をもち、国際協力の分野で働きたいと思い、アジア学院の学生となりました。去年9か月の研修に加えて、今年もう一年卒業生インターンとしてさらに農業の経験を積み、知識を豊かにすることで国際協力の分野で活躍できる人材になりたいです。

(2013 年度卒業生)

研究科生 (卒業生インターン) Graduate Intern

アジア学院の日本人卒業生は、卒業の次年度に研究科の卒業生インターン (GI) に応募する資格をもちます。卒業生インターンは農業の1分野に焦点を当てて、その分野のより深い理解と幅広い経験を培います。さらにアジア学院の構成メンバーとして、生活のあらゆる場面において重要な役割を担います。

カメルーン !"#\$%&'



セオドラ・ティルバーバン・タタ
Ms. Theodora Tirbaban Tatah

ナブチ国際基金
Navti Foundation International

健康指導員・農村共同体開発
コーディネーター
Health Coordinator / Rural Community
Development Coordinator

① セオドラ Theodora

② わたしが仕える人々は健康維持と持続可能な農業の必要性を感じています。わたしは健康維持活動を調整し、保健教育を行い、農家に家畜飼育の指導を行っています。アジア学院の研究科生として、本科生だった時に磨いたサーバント・リーダーシップの技術を向上させながら、給食活動と農場を支えていきたいと願っています。

(2006 年度卒業生)

研究科生 (トレーニング・アシスタント) Training Assistant

学院を卒業後5年以上自国で働いている卒業生の中から、研究科生が選ばれます。研究科生は、学院において自分の専門分野の研修を行うと同時に、職員を補助して学生の研修を助けます。

写真協力：荒川 伸人
三輪 恵愛

2014 年度 奨学金支援団体

アジア農村交流協会、アメリカ福音ルーテル教会 (ELCA)、Harstra Foundation (オランダ)、五十嵐基金、日本学生支援機構 (JASSO)*、日本ルーテル福音社団 (JELA)、久保田豊基、日本キリスト教協議会 (NCC) 女性委員会*、新倉会、大阪コミュニティ財団、ロータリー米山記念奨学会、聖コロンバン会、聖心会、東京聖母モテ奉仕奨学金、United Church of Canada、世界キリスト教協議会 (WCC)、東京アメリカンクラブ*、サレジオ会、ウェスレー財団、合同メソジスト教会世界宣教局 (GBGM)、American School in Japan 水泳部*、米国合同教会 (UCC)、東京平和教会カチン語部、北米アジア学院後援会 (AFARI)

* 申請中 (5月1日現在)

アジア学院の卒業生

The Graduates of ARI

1,273名 / 1,273 persons

東南アジア農村指導者養成所
・卒業生 116名・17ヵ国

アジア農村指導者養成専門学校
・本科生 1,080名・54ヵ国
・研究科生 77名



* 無国籍の難民 1人を含む